

沖縄県青年海外協力隊を支援する会会報

第13号

〒901-2552 沖縄県浦添市前田1143-1  
国際協力機構沖縄国際センター内  
tel 098-876-6000 fax 098-876-6014  
沖縄県青年海外協力隊を支援する会  
発行責任者：事務局長 東江賢次

# はいむるぶし

(沖縄八重山地方の方言で南十字星の意 題字：故末次一郎氏)

## 稲嶺恵一 会長

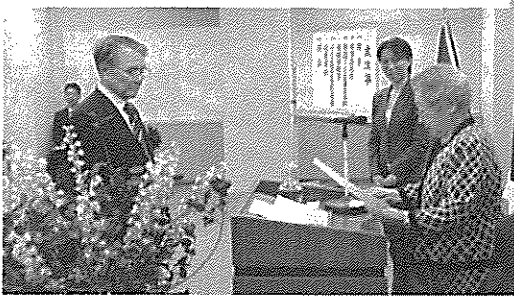
### JICA理事長表彰受賞

十月二十四日にJICA沖縄国際センターニライホールにおいて、稲嶺恵一会長JICA理事長表彰受賞祝賀会が開催され、支援する会会員、協力隊OBや県内国際交流団体から約四十名が参加して受賞を祝いました。

開会のあいさつで上原盛毅副会長は、「稲嶺会長は、平成三年から協力隊進路相談カウンセラーを務め、そして平成六年に沖縄県協力隊を支援する会の初代会長に就いてもらった。平成十年に県知事に立候補する際に百余の公職を辞めたが、支援する会会長だけは継続し、そして、知事として積極的に隊員出発時、帰国時の表敬訪問を受け、激励してくれた。これらがマスコミにもしばしば取り上げられ、協力隊を県民に広く知らしめることができた。その結果、沖縄県は協力隊への応募率が青年人口比で全国でトップになるなど、協力隊事業の発展に大きな貢献があった。」と受賞の経緯を説明しました。

受賞者としてあいさつに立った稲嶺会長は、「協力隊員が送られるのは地方の貧しい地域である。多くの困難

緒方貞子JICA理事長から表彰状を受ける稲嶺会長



な体験が優しい心を育て、人々の悲しみ・心の痛みが分かるようになる。今後の日本の地位向上にはそのような人材が必要である。今回の受賞は、支援する会会長としてであり、これは、こ

こに参加の多くの皆さんの支援のお陰である。」と述べた。出席者スピーチで、沖縄県支援する会の最初の支援隊員として楽器の寄贈を受けた渡真利 道さん(ジンバブエ音楽)は、「沖縄から何箱ものダンボールが次から次へと届いた。開けるといろんな楽器だった。これを使って活動した。ある男子生徒が、『音楽っていいよね。だって、歌っている時、楽器を演奏している時、ケンカする人は誰もいないもの。』と言ってくれた。支援する会のお陰で、音楽のすばらしさを教えてくれることができた。」と語りました。

続いてのスピーチに立った照喜名 渉子さん(協力隊ジンバブエ 音楽)は、「赴任して宿舍の掃除をしていると、たくさんさんの鍵盤ハーモニカが出てきた。裏を見ると玉城とか安谷屋とか沖縄の名前が記されていた。こんなアフリカの国が遠く沖縄とつながりがあったことを知って驚き、感動した。」と語りました。実は照喜名さんは、渡真利さんの九年後に同じ学校で活動した隊員です。

なお、JICA理事長表彰授賞式は十月三日に東京において行われ、稲嶺会長は法子夫人を伴って出席しました。



協力隊OB会から花束の贈呈

はいむるぶし

# 沖縄県青年海外協力隊を支援する会 第13回通常総会の報告

10月24日にJICA沖縄国際センターにおいて、沖縄県青年海外協力隊を支援する会第13回通常総会が開催されました。

総会において、平成18年度事業活動と決算、平成19年度の事業計画と予算が提案され、すべて原案どおり承認されました。

(社)協力隊を育てる会からは、高橋成雄参与が出席し、あいさつをしました。高橋参与は、かつて沖縄返還要求国民運動事務局長を務めるなど、沖縄とは関係の深いものがあります。また、協力隊訓練所長を昭和44年から47年、昭和56年から平成3年までと、長きに亘って務めたことから、沖縄には高橋参与の世話になった者も多く、総会翌日は、高橋参与が訓練所長時代の協力隊OBらが歓迎会を開きました。



1 一般会計 平成19年度収支予算書  
収入の部 単位 円

項目	予算額	摘要
会費	760,000	
(1) 個人会費	400,000	80*5,000
(2) 団体会費	60,000	6*10,000
(3) 法人会費	300,000	15*20,000
助成金	82,000	
(1) 公的助成金	1,000	
(2) 民間団体助成金	1,000	
(3) 本部助成金	80,000	育てる会活動助成金
事業収入	1,000	
寄付金	1,000	
雑収入	1,000	預金利息等
繰越金	484,070	前年度一般会計繰越金
合計	1,329,070	

一般会計 平成18年度収支決算書  
収入の部 単位：円

項目	予算額	決算額	差引増△減額
会費	760,000	510,000	△ 250,000
(1) 個人会費	400,000	260,000	△ 140,000
(2) 団体会費	60,000	40,000	△ 20,000
(3) 法人会費	300,000	210,000	△ 90,000
助成金	82,000	80,000	△ 2,000
(1) 公的助成金	1,000	0	△ 1,000
(2) 民間団体助成金	1,000	0	△ 1,000
(3) 本部助成金	80,000	80,000	0
事業収入	1,000	0	△ 1,000
寄付金	1,000	0	△ 1,000
雑収入	1,000	75	△ 925
繰越金	458,527	458,527	0
合計	1,303,527	1,048,602	△ 254,925

支出の部 単位 円

項目	予算額	摘要
事業費	900,000	
(1) 広報啓発費	300,000	会報作成、クロスロード購読料
(2) 隊員支援費	300,000	隊員活動機材送付、隊員激励会等
(3) 視察事業費	100,000	視察の旅引率補助
(4) その他事業費	200,000	
事務費	100,000	通信運搬費、消耗品費、交通費等
会議費	160,000	
(1) 総会費	60,000	
(2) 役員会費	50,000	
(3) その他会議費	50,000	
負担金	30,000	(社)育てる会年会費 10,000円 沖縄NGO協議会年会費 10,000円*2年
10周年事業費	0	
予備費	139,070	
合計	1,329,070	

支出の部 単位：円

項目	予算額	決算額	差引増△減額
事業費	700,000	424,880	△ 275,120
(1) 広報啓発費	300,000	121,560	△ 178,440
(2) 隊員支援費	200,000	166,020	△ 33,980
(3) 視察事業費	100,000	80,000	△ 20,000
(4) その他事業費	100,000	57,300	△ 42,700
事務費	100,000	48,490	△ 51,510
会議費	160,000	81,162	△ 78,838
(1) 総会費	60,000	56,875	△ 3,125
(2) 役員会費	50,000	8,387	△ 41,613
(3) その他会議費	50,000	15,900	△ 34,100
負担金	20,000	10,000	△ 10,000
10周年事業費	200,000	0	△ 200,000
予備費	123,527	0	△ 123,527
合計	1,303,527	564,532	△ 738,995

収入と支出の差額は次年度へ繰越す。

484,070

# はいむるぶし

## 小さなハートプロジェクト申請

鹿糠説子 H18-1 マラウイ 村落開発普及員



## 屋根のある教室から マラウイの未来を

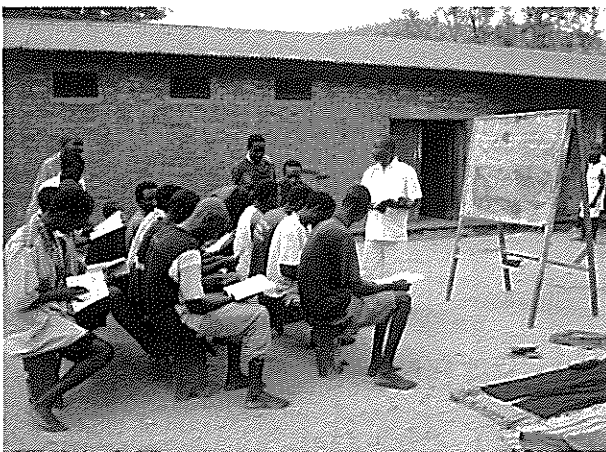
カタベイはマラウイ北部の湖畔に位置する風光明媚な町です。その町にある刑務所には、約百二十名の服役囚が収容されており、その七五%は、貧しさに起因する「物盗り」の罪です。

教育水準と就職、収入(貧しさからの脱却)は密接な関係にあるため、服役後の生活支援として、所内では識字教育や初等教育、中等教育に力を入れています。

しかし、国自体の財政力の弱さから、刑務所に教室はなく、炎天下の広場での授業を強いられています。また、雨天時は授業ができない状況にあります。

屋根のある教室を建設し、学習環境を改善することとは、国と地域の発展と安定が図れるものであり、その資金援助として「小さなハートプロジェクト」を申請するものです。

なお、教室の建設にあたって、壁に使うレンガは既に自らが焼いて用意しており、建設作業も服役囚が従事することになっていきます。支援金は、屋根のトタン板や窓などを購入するものであり、二九万六千円を申請します。



刑務所の中庭で学習する服役囚。教師も同じ服役囚が務める。

## 小さなハートプロジェクト募金

にご協力をお願いします。

郵便振替口座：01760-3-59503

口座名：沖縄県青年海外協力隊を支援する会

料金は「加入者負担」なので不要です。

### 平成19年度収支予算書

#### 2 小さなハートプロジェクト支援特別会計

##### 収入の部

項目	予算額	摘要
寄付金	300,000	小さなハート、国際救援
雑収入	1,000	預金利息等
繰越金	644,409	
合計	945,409	

##### 支出の部

項目	予算額	摘要
プロジェクト支援費	700,000	小さなハート、国際救援活動
事務費	30,000	通信運搬費、消耗品費等
会議費	30,000	
調査指導費	150,000	調査、指導に要する経費
予備費	35,409	
合計	945,409	

## 「沖縄発JICAボランティア

## 地球日記

### 「好評発売中

1600円

沖縄タイムス夕刊において、06年4月から07年7月にかけて、毎週金曜日に青年海外協力隊員らの現地レポートが連載されました。

どの隊員のレポートも素人の書いたものとは思えないほどおもしろく、読みやすいものです。誰もを作家にするほど、現地では書く題材に溢れ、おどろきと感動の連続なのです。

そのレポートが、カラー写真を満載し、パワーアップして一冊の本になりました。



地球日記 沖縄人だしの地球人

ほいむるぶし

行ってらっしゃい  
出発ボランティア紹介

2007年度2次隊 2007.9～2年間



左から 奥間政亮、並里 賢、下地聖美、カネシロ明子

2007年度3次隊 2008.1～2年間



後列左から 外間教男、山田雅人、大城満明、下地三保子、新垣義乃祐、比屋根希、与那嶺涼子、糸数 亮  
前列左から 神村盛喜、伊良波藍里、比嘉絵里子、服部 恵、岩本徑恵

奥間政亮 協力隊 ソロモン 理数科  
教師 宜野湾市

並里 賢 協力隊 ナミビア 理  
数科教師 糸満市

下地聖美 協力隊 マラウイ  
青少年活動 豊見城市

カネシロ明子 協力隊 ザンビア  
理数科教師年間 南風原町

新垣義乃祐 協力隊 バングラデシュ  
ハンドボール 2008.1～2年間 那覇市

服部 恵 協力隊 ケニア 日本語教  
師 那覇市

岩本徑恵 協力隊 バングラデシュ 助  
産師 沖縄市

糸数 亮 協力隊 ニカラグア 養護  
うるま市

伊良波藍里 協力隊 ベナン 村落開  
発普及員 うるま市

下地三保子 協力隊 グアテマラ バ  
レーボール 南城市

比嘉絵里子 協力隊 モンゴル 日本  
語教師 読谷村

比屋根希 協力隊 ニカラグア 村落  
開発普及員 北中城村

大城満明 協力隊 パプアニューギニ  
ア 村落開発普及員 西原町

与那嶺涼子 協力隊 ネパール 村落  
開発普及員 西原町

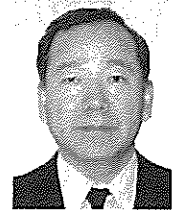
外間教男 シニア パラグアイ 農業  
普及 南風原町

山田雅人 シニア パラグアイ 情  
報・広報 那覇市

神村盛喜 シニア マレーシア 河  
川整備 北中城村

JICA沖縄国際センター

所長に



木下俊夫氏  
就任

十月初旬にJICA沖縄国際センター所  
長として着任しました木下です。

沖縄県青年海外協力隊を支援する会の皆  
様には、常日頃より当センターの実施する  
事業に対して、多大なご支援とご協力を賜  
り、厚く御礼申し上げます。

着任以来、当センターとして、沖縄の特徴  
(強み)を生かした事業はどうあるべきか  
を再検討中です。沖縄の経験や知恵を生か  
す方法として、協力隊及び日系社会青年ボ  
ランティア事業は、その重要性を更に増し  
ていくものと確信しています。

皆様の助言や提案を大いに歓迎します。

私の国際協力

青年海外協力隊帰国報告会

in JICA沖縄

日時 平成二十年二月十七日(日)

15:00～17:00

場所 JICA沖縄ニライホールF

入場無料・参加申込み不要